

てしお

第 118 号
平成 19 年 9 月

議会だより



天塩高等学校・学校祭パフォーマンス

6月定例会は、6月14日から22日までの3日間開かれ、天塩高等学校存続に関する行政報告や、天塩町課設置条例の一部改正を含む議案8件、報告2件、意見書2件について審議しました。

行政報告

天塩高等学校の存続

公立高校配置計画案の概略と取組みについて報告がありました。

昨年8月に、北海道教育委員会から「新たな高校教育に関する指針」が示されたことにより、町・議会・教育関係者がともに存続要望活動を進め、更に北部3町並びに教育関係者が「天塩高校存続期成会」を設立し、高校存続に向けて各方面に要望活動を展開してきました。

それを受けて、道教委は今年6月5日、新たに次の公立高校配置計画案を公表しました。

一 20年度から、1学年1学級の募集とする

二 21年度に天塩高校は、センター校となる留萌高校の地域キャンパ

ス校に

三 天塩高校が1学級になる場合、相当の教員数は減とする

天塩高校は存続となったものの、町では、今後は1学級ではなく、現状どおり2学級で募集をしてもらうよう道教委に対し要望活動を進める考えです。

職員の交通違反に陳謝

五月七日、病院職員（四七歳）が、速度違反と酒気帯び運転で逮捕された件で、町長は「管理監督の立場から深く反省し、町議会をはじめ町民関係期間各位に深くお詫します」と謝罪。当該職員を停職三か月間の懲戒処分するとともに、管理監督の立場にある所属長などを嚴重注意処分とした旨の報告がありました。



公立校配置計画の対象となった道立天塩高等学校

一般会計補正予算の内容

平成19年度一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出それぞれ1億8,750万円を追加し、総額を40億6,275万円としました。その主な事業は下記のとおりです。

（その質疑内容は次項に掲載しています）

【歳入】 主な事業 単位：千円

国庫支出金	後期高齢者医療制度創設準備事業補助金	5,774
	地域住宅交付金	3,240
道支出金	老人クラブ運営費補助金	250
	21世紀北の森づくり推進事業	7,636
	森林整備地域活動支援事業事務費補助金	169
	森林整備地域活動支援事業交付金	10,080
財産収入	留萌北部森林組合配当金	198
繰入金	財政調整基金繰入金	30,000
	振興基金繰入金	1,000
諸収入	北海道市町村備荒資金組合支消金	100,000
町債	準用河川トウツナイ川改修事業	22,800

【歳出】 主な事業 単位：千円

総務費	職員住宅下水道整備事業	3,000
	天塩町振興基金対象事業補助金	1,000
	ホーム市訪問団来訪経費	590
	町内会館整備事業補助金	1,380
	天塩高等学校体育文化振興協力会補助金	1,690
民生費	除雪サービス事業	1,900
	住基情報等提供システム及び後期高齢者医療制度保険料徴収システム開発等経費	35,322
衛生費	水道事業特別会計貸付金	△ 9,600
労働費	季節労働者冬期就労対策事業	1,600
農林水産業費	天塩町酪農ヘルパー推進協議会補助金	6,930
	天塩町乳牛検定組合補助金	2,170
	21世紀北の森づくり推進事業補助金	12,410
	森林整備地域活動支援事業交付金	13,440
	しじみ資源保護対策事業補助金	14,710
	漁業振興対策事業補助金	7,340
商工費	天塩川港まつり事業補助金	2,700
	ハマナスの丘整備事業	3,800
土木費	雄信内7線沢線道路補修事業	2,500
	川口7号線横断管取替事業	4,500
	準用河川トウツナイ川改修事業	25,000
	緑新団地公営住宅下水道整備事業	13,000
	潮見団地公営住宅解体事業	3,300
	下水道事業特別会計繰出金	5,900
教育費	更岸小学校開校100周年記念事業補助金	400
	教職員住宅下水道整備事業	3,000
	啓徳小中学校耐震診断委託事業	4,400
	小学校英語活動等国際理解活動推進事業	485

地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の着実な推進について

国において、森林吸収源対策の着実な推進を図るため、森林所有者が意欲を持って林業経営に当たることができるよう要望する。

- 1 林業採算性向上のための施策・制度の充実
- 2 森林所有者・地方公共団体に対し、新たな財政措置を
- 3 森林整備を社会全体で支える制度の創設

道路整備について

道路整備が強力に推進されるよう、引き続き、強く要望する。

- 1 道路特定財源制度の趣旨のとおり必要な財源を確保
- 2 道民の期待に応え、道路整備の着実な推進
- 3 高規格道路の当面着工しないとした区間の早期事業化
- 4 道路網の安全・信頼の確保と、適時適切な修繕を

次の2件の意見書は可決後、直ちに国などの関係機関に提出しました。



浅田町政最初の政策予算が六月定例議会に提案、審議されました。その主な質疑内容と答弁を一問一答で紹介いたします。

総務費

Q 振興補助金の対象事業内容は
A 現在、予定する事業の申請はない

Q フラワーフレンドリー補助金二
万七千円は、今後も継続するのか
A 環境の良い町づくりとして、今後とも必要

Q 町民農園友の会は、自主財源で
運営していく方がいいのでは
A 見直し・再検討する

Q 町内会館整備事業百三十八万円
の対象先はどこか
A 作返町内会館の修理費補助

民生費

Q 除雪サービス事業補助金、百九
十万円の事業内容について
A 社会福祉協議会を經由し、天塩
企業組合に事業委託

農林水産業費

Q 後継者不足、農家戸数の減少の

なか、酪農ヘルパーに頼らざるを得ない。一律一〇%の削減ではなくメリハリのある補助に
A 町財政の許す限り、農業振興に務める

Q 酪農ヘルパー補助金六百九十三
万円、まだ少し多いと考える。商
工業者の方が、倒産の危機におび
えている状態だ
A 農家の営農に重要であり、今後
も継続

Q 農漁業後継者対策事業十五万円、

この予算で十分な後継者を作り上げて行けるのか
A 対象者が増えてきたら、補正により対応

Q 乳牛検定組合の補助金、いつまで補助を続けるのか
A 行革の対象として検討

Q しじみ資源保護対策事業、千四
百万円の内容は

A 人工種苗生産事業、しじみ資源
環境調査事業、鉄分除去及び選別
洗浄機の導入事業、しじみ貝の赤

6月定例会 補正予算関連審議 一問一答

錆除去機の導入事業の四事業

教育費

Q 小学校英語活動等国際理解活動
推進事業の内容は
A 更岸小学校が、平成十九年度から二年間、文部科学省の委託事業として、英語活動等国際理解推進事業の拠点校となり事業を行う

Q 本年度、ホームター市から来町も



▲耐震診断を受ける啓徳小中学校

ある。国際化に向けた町づくりを
考えてもいいのでは

A 教育委員会と前向きに協議

Q 中国人研修生が多い。中国語の
学習が求められているのでは
A 今後、研究が必要

Q 啓徳小学校耐震診断委託事業の
内容は

A コンクリート強度など、建物が
地震時にどの程度耐え得るかを、
構造力学上、診断するもの

歳入

Q 現在の振興基金残高は
A 元金、二億八百三十万円利息貸
付は千六百十七万円



▲国の英語活動事業委託を受ける更岸小学校

質問 改革への取り組みは

町長 不退転の決意で



石山 直継 議員

質問 「健全化計画と無料の施設」

前にも、町の施設の無料での提供は考えるべきだと述べた。一年以上が過ぎ、どのような対策と話し合いが持たれたのか。

特にパークゴルフ場においては無料である。近隣町村では協力金として利用者に負担を求めている。天塩町も試験的にやるべきでは。

答 「健全化計画の中で検討中」

無料施設は、九つの施設があります。歳出削減だけではなく、地方税以外の収入等の適正化や徴収率の向上等に努めるなど、自主財源の確保は極めて重要ですので、現在作成中の「財政健全化計画」の歳入検討項目の中で、無料施設の有料化を具体化していく考えです。

質問 「公営住宅と職員住宅家賃」

職員住宅の家賃の算定方法。住宅手当の有無。職員住宅家賃は、公営住宅の相場で考えるべきでは。

答 「職員住宅家賃も是正します」

職員住宅の家賃は、国家公務員の宿舍法を準用し、当該住宅の延べ面積を乗じて算定しています。住宅手当は、職員住宅の入居者に支給されません。

住宅手当の支給対象は、①借家・貸間で、月額一万二千元以上の家賃を払っている場合（上限は二万七千円）、②自己所有の住宅に居住している場合（月額五千元）支給されま

す。

家賃は、集中改革プランにおいて、定額制と管理職の入居を中心に是正することになっていきます。

質問 「改革への取り組みは」

町長の目指す「人づくり、夢づくり、希望にもえるまちづくり」は九項目あるが、その決意のほどは。

答 「不退転の決意で」

第1には、財政の健全化なくして、まちづくりを進めて行くことはできません。しっかりとした財政基盤を維持していくために、あらゆる分野で見直しを行い、経費の節減や人件費の削減、事業の見直し等と効率的な行政運営を行い、財政の健全化を進めます。

第2には、後継者が将来に夢と希望を持てるような安定した農業経営や漁業経営ができるようサポートする総合的施策を進めます。

第3の商工業の振興は、商工会や関係機関と連携を図り、地元での消費拡大と商工業の経営安定。

第4、福祉は、子育て支援や健康づくり運動、更に高齢者への声かけ、介護予防・支援など、子供から高齢者まで、地域住民みんなで支え合う町づくりを進めます。

第5、医療制度の改正や医師不足などにより、病院運営は非常に厳しい状況ですが、医師確保など医療体制の構築を進め、地域医療をしっかりと

り守っていきます。

第6は教育ですが、次代を担う子供たちが町を愛し、夢と希望を持ち、地域に根ざした教育活動の推進や、教育環境の整備にも十分配慮していきます。

天塩小学校の改築は、財政状況を勘案しながら、重要な課題として位置付け、今後も検討を進めます。

第7、郵政民営化により、郵便局が更に縮小されることのないよう、注視をしていく必要があります。

道立高校の再編問題ですが、町議会、教育関係者、北部三町で構成された存続期成会による存続活動により、天塩高校の存続が明示されました。しかし、二十年度からは、一学級での募集となりますので、二学級募集の継続を求め、更に要望活動を進めていきます。

第8、年間延べ一万人程度の自衛隊員が来町され、地域における経済効果を上げています。本町への施設誘致実現に向けて更に努力をしていきます。

第9、河川整備や道路、港湾、農業基盤整備は、大きな事業であり、国、道直轄事業等により、整備が進んでいますので、今後も事業の継続など、要望を含め、更に連携を図り進めていきます。

不満は出てくるかと思いますが、財政健全化は後戻りできませんので、不退転の決意で臨む考えです。



菊地 敏 議員

一般質問

質問 道路整備をしっかりと

町長 引き続き要望します

質問 「インフラ整備の窓口」

国道、道道に対する要望・意見は、町民はどこにいけばいいのかわかりません。

答 併 「関係機関と連携を図ります」

留萌開建羽幌道路事務所、警察署、留萌土現、天塩町、遠別町、幌延町の関係行政機関が、平成八年に「留萌北部地区道路交通管理協議会」を設置し、交通事故の抑止や道路の維持管理及び冬期路面管理等を協議し、諸対策の解決を図っています。

道路維持に関する苦情処理等は、町で連絡を受けた場合は、所轄する関係機関に取り次ぎしています。

また、改良等の要望、維持等以外の大きなものは企画商工課が窓口となり、町が検討し要望することになっています。

質問 「海岸通の排雪をしっかりと」

道道稚内天塩線の海岸通四丁目から十一丁目までの歩道は、除雪がされておらず危険で、商工業・経済にも大きな影響を与えている。

答 併 「引き続き要望していきます」

平成十八年五月に留萌土木現業所との連絡会議で、歩道部分が狭いため、整備ができないか協議しています。また、平成十九年二月の連絡会議においても、要望書を提出しています。

その回答ですが、歩道等の拡幅には多額の費用がかかるため、国の補助制度の活用を検討したが、道路幅



▲海岸通6丁目付近

等の規格により、国の補助事業に該当なりません。

道の単独事業とした場合、今の財政状況から非常に難しいという回答がきています。しかし町は、引き続き要望活動を続け、改善に向けて努力をしていきます。

質問 「国道の除排雪対策も」

国道四〇号で一昨年の秋、軽自動車と四トン貨物との正面衝突による死亡事故があった。その原因は、軽自動車の運転ミスによるものだったそうだが、第一発見者である私が

見た目では、明らかに道路のわだちによる事故であった。

協議会で諸対策の解決に努力しているようだが、いまだに道路のわだちが付いたままである。町内の除雪対策を含め、町内の国道、道道の管理者に対し、実現するまで強く要望すべきだと思いが。

答 併 「組織作りを検討します」

この協議会は、主に冬期間を主にしていきます。一年を通した、横の連絡が今のところは不足していると考えますので、その組織づくりも考えたいと思います。

質問 「富士見団地の町内会」

平成十七年十二月の一般質問で、十八年度中に富士見団地ができた時点で、町内会も立ち上げるといって話だったが、その後の経過は。

答 併 「今後も支援していきます」

富士見団地は、潮見・川西団地の建て替えにより建設された団地であり、平成十九年三月末をもって全五十二戸が完成しています。今、町内会組織はありません。以前にも富士見団地入居者の話し合いをしましたが、町内会組織の設立は、できなかった経緯があります。再度入居者に集まっていたとき、町内会組織を立ち上げることを前提とした会議を持ち、町内会づくりを支援して行きたいと思えます。



川端 英嗣 議員

質問 4億円の赤字、余裕はない

町長 病院運営に最善を尽くします

質問 「生粋の天塩人とは」
町長はマニフェストの中で「生粋の天塩人」とあるが、区別と偏見はないのか。今後も「天塩人」としてといった発言をするのか。

答 「町外出身者を区別したものでない」
天塩を思う人、愛する人は皆「天塩人」であり、今後も使うことはあると思います。

質問 「マニフェストに改革はなかったが」
執行方針に「改革のまちづくり」とあるが、町長選挙のマニフェストに改革には使われていない。今になって「聖域なき改革」とは、町民を欺いていないか。

答 「集中改革プランに表現」
マニフェストには、財政健全化計画の推進をうたっており「改革の柱」という言葉で表現しています。

質問 「なぜ新たな課が必要なのか」
総務財政課としてわずか三年。この間の行政改革室にどんな問題があり、遠別・幌延で課を削減しているのに、なぜ新たな課の設置なのか。また、町は最善最高として予算案を提案しておいて、同じその担当課が、後日、削減した改革案を、議会に出してくるのは議会軽視では。

答 「リーダーシップを発揮して」
財政健全化と行政改革に全体的

課横断的、具体的に取組むため、室の上の、課として設置をし、リーダーシップを発揮していく必要があり、行革と財政を併設し、新たに課の設置を提案しました。課の統廃合計画は、今年度中に示すことができると考えています。

質問 「健全化計画の時期は」
職員が立案した財政健全化計画について、六月中にずれ込むということだが、具体化は。

答 「十二月まで」には、計画を作成し終えたいと思います。

質問 「情報公開」という言葉がまったくないが。

質問 「町立病院は一次医療として充実すべきでは」
(1) 四月、五月の推計した収支見込み。追加の繰出金はいくらか。
(2) 医師確保のために、一年間で北大・手稲溪仁会・道地域医療振興財団に何回行ったのか。
(3) 町立病院としての医療の水準・レベルを町民に明らかにし、一次医療としての充実を目指すべきでは。二次医療は近隣市町と医療連携が必要と思うが。
(4) 調剤薬局の病院付近への移転。

答 「現状は一次医療に傾注」
(1) 当初予算で計上していた二億七千八百万円の歳入不足が、三億

答 「町広報誌やホームページ」
は、既に公開しています。まちづくりの懇談会などを開催し、町民と対話し、開かれた行政を行います。

質問 「四億円の赤字」
このままでは病院に四億円もの赤字補填が必要になる。もう余裕はない。町長の決断が必要だ。

答 「病院を守るために最善を尽くしたい」
国の施策により、天塩町だけが特別ではないと思います。最善を尽くします。どのような形にするかも、道と協議を進め、早急に煮詰めて、町民に安心してもらえるよう、これまで以上の努力をしていきます。

(2) この一年間、要請に出向いた回数
は、それぞれ二回。北大は、私は出向いていないが町立病院において応援医師に二回、医師派遣のお願いをしました。五月、北大(教授)に会えなかったが秘書に伝えた、手稲溪仁会、道、道医療団に一回、医師派遣の要請をしました。
(3) 現状は、一次医療の充実に傾注しています。医療連携は、市立稚内、名寄市立、道立羽幌などに二次医療をお願いしています。
(4) 薬局の移転は、相当な額がかかるので、厳しい状況です。

【7】



遠藤 功 議員

質問 具体的なまちづくりを示せ

町長 まず、財政健全化を

一般
質問

質問 「将来像が見えない」

町政執行方針が予算の中に表現されていない。将来に残す町づくりをどう変化させ創り出して行こうとするのか、医療、福祉、教育、産業の各分野において、項目の重点づくりと、より具体的な内容を住民に示す必要があると思うが。

答 「財政破綻を防ぐため新規事業
弁は見送りました」

本町は基金の残高が少なくなってきた。平成19年度からの三年間が、起債償還のピークを迎え、財政健全化計画を何とか進めて行かなければなりません。

町財政の破綻は、町民に多大な負担をお掛けすることになります。このような状況に陥らないために、今年度は新たな事業は見送っている状況です。

質問 「まちづくりをもっと具体的に示すべき」

答弁の中から具体的なものが全然前が見えてこない。もう少し明らかにしてもらえないか。

答 「まず、財政健全化計画を策定
弁します」

農業関係については、関係機関と連携をとって酪農畜産業の振興を図るための経営サポート施策を検討します。

小学校問題は非常に財政的な負担

が大きい問題です。この三年間で見通しが立ち次第、考えて生きます。

集中改革プランは国から示された大きな範囲の主旨があります。しかし、財政健全化は町自体が独自に考えるべき内容のものです。幅広い考え方で、集中改革、健全化計画は進めなければならぬものと考えています。

質問 「広域連携による天塩町のメリ
ツトは」

質問 「留萌管内の広域事務連携につ
いて」

広域連携研究会から留萌市と幌延町が離脱表明し、承認されたとの記事がある。

① 当研究会はどのような目的でいつから活動し、どのようなことが議論されてきたのか。

② 幌延町、留萌市の離脱理由は何だったのか。

③ 今後、この研究会とどう関わって行こうとしているのか、についてお伺いしたい。

また、四年間で、本町は単独を目指すのか、広域連携を目指すのか。

答 「自立、合併、広域連携は平行
弁して検討」

① 各町村の自治体は、自主性を生かしながら行財政改革を進める中で、相互に役割を分担しながら連携し、

理事者と議会だけが知っていればそれでいいというのではなく、住民に説明して行くべきでは。

答 「研究の初歩なので今後」
弁

ほかの市町村長とも協議しましたが、少し長い目での取り組みが必要。自立の町を目指すとしながら、反面、少しでもお互いが連携を取ったならば、その将来にどういうメリットが出てくるか、まだ今の段階では研究の初歩ですのでご理解願います。

効率的・効果的な行政運営をしていくために、広域的な連携を一層強化する必要があるという共通した認識をもっています。

② 留萌市は、広域連携に取り組むべき前に、自分の市の財政状況を建て直すことを早急にするため。

幌延町は、管内における生活圏、経済圏、医療圏等の事情から、広域連携の取り組みへの参加を見合わせる、というのが理由です。

③ 広域連携は引き続き、研究を進めることで確認されていますし、今後も長い目で見たものの考え方をして行くべきではないかと考えています。

当面は、行財政改革が急務です。並行して広域連携での効率性があるものについて十分これを検討しようと考えています。

質問 税負担の公平性を保て

町長 差押え含め強硬な手段も



渡辺 修勝 議員

質問 「税負担の公平性を保て」
町が住民に対して行政サービスを提供する、それを支えているものは住民の負担する町税等である。税を納めないのは生活が窮迫していたからだという理由があるかもしれないが、課税されるにはそれなりの所得や物件があり、課税される理由があるはずで、仮に課税後に災害を受けたなどの理由があれば徴収猶予の措置もあるはずだ。

正当な理由のある滞納はあり得ないと考えるので、公正と財源の確保を図ることについて、どのように考えているのか。

答 「強硬な手段も視野に」
低賃金、雇用の減少、子育て中とか病人がいるなど正当な理由があり、納税意欲のある方には、事情を勘案し、納付をお願いしています。

特別な事情がないにも関わらず納税意欲のない方は、納税相談の回数を増やし、納付誓約書を作成します。履行されない場合は、強硬な手段も視野に対処して行きたいと思っております。

質問 「放置してはおけない」
権利と義務は表裏一体であるから、公平性を考えた時、このまま放置しておくことは許されない。何らかの措置をしなければならぬと考えるのがいかがか。

また、通常月も種々、滞納対策に取組んでいます。

答 「取組みを強化します」
滞納者の取組みは、十二月と五月に納税相談強調月間を行い、滞納者との納税相談、臨戸訪問を行っています。

国保税は、被保険者証の更新で窓口に来たおり、短期被保険者証を発行し納税相談を行い、分納誓約書、口座振替、納税意識の確認を得ながら進めております。

単位：千円

	17年度末	18年度末
町 税	20,849	19,245
水道使用料	1,070	1,842
公営住宅使用料	7,462	8,729
国民健康保険税	37,646	42,412
下水道使用料	1,019	1,299
介護保険料	649	727

毎月約束している納税者には、指定した納入日時に個別訪問徴収を行っています。

質問 「累増する滞納額の対策は」
滞納が累増している状況についてもう少し具体的な説明をしてほしい。

提案になるが、一定期間、役場の全課長を動員し個別訪問するなど、徴収対策に乗り出す。高額滞納者や行政にたけた幹部職員が滞納処理にあたることから、当然、若手職員のやる気を刺激することにもなるはずだ。

答 「差押えは慎重な姿勢で」
全課長がそれに取組むということも一つの大変画期的な話でないかと思えます。こういう事も視野に入れていきたいと考えています。

滞納者に行政サービスを制限することは、今までの中に既に行われているものがあります。

滞納の状況を聞いており、結構な額になっている方もいます。納付誓約書を取りながら、本人に履行してもらわなければ、厳しい手段、最終的には差押えの話もしています。

このほかに、広域連携の中で滞納対策が一つのテーマに挙がっています。

議会日誌

5月

- 23 第3回町議会臨時会〔全議員〕、議会広報特別委員会〔全委員〕、議員協議会〔全議員〕、天塩地区交通安全協会通常総会〔議長〕
- 27 消防団春季総合消防演習〔副議長〕
- 30 天塩地区交通安全協会連合会通常総会〔議長〕

6月

- 7 議会運営委員会〔全委員〕、議員協議会〔全議員〕
- 8 安愚楽共済牧場十勝支店天塩牧場新設地鎮祭〔宇ウブシ、議長〕
- 10 第2師団創立57周年旭川駐屯地開設55周年記念式典〔旭川市、議長〕
- 14 第3回町議会定例会〔～22、全議員〕
- 16 上富良野駐屯地創立52周年記念式典〔上富良野町、議長〕
- 18 町姉妹都市交流促進協会総会〔議長〕
- 22 議会改革特別委員会〔全委員〕
- 23 自衛隊留萌駐屯地創立54周年記念行事〔留萌市、議長〕
第58回全国植樹祭
〔札幌・苫小牧市、議長・副議長・石山議員〕
- 24 美唄駐屯地創立30周年第2地对艦ミサイル連隊創隊15周年記念式典〔美唄市、中嶋議員〕
- 25 北海道天塩高等学校存続期成会役員会〔議長〕
第58回全国植樹祭協賛「北のしじみの森林づくり植樹祭」〔宇川口、議長〕
- 27 平成19年度留萌地域総合開発期成会定期総会及び地元要望〔留萌市、議長〕
自衛隊施設・訓練施設誘致要請
〔留萌・旭川市、議長〕
- 28 天塩高等学校存続要望〔留萌・札幌市、議長〕
- 29 自衛隊施設・訓練施設誘致要請〔札幌市、議長〕

7月

- 30 ゆめ地創館開館式典〔幌延町、議長〕
- 1 第26回鏡沼しじみまつり〔議長〕
- 2 留萌地域総合開発期成会要望〔札幌市、副議長〕
- 3 自衛隊施設・訓練施設誘致要請〔札幌市、議長〕
北海道町村議会議員研修会〔札幌市、全議員〕
- 7 札幌天塩会平成19年度総会〔札幌市、議長〕
自衛隊第1特科群創隊55周年祝賀会
〔千歳市、議長〕
- 11 一般国道40号名寄稚内間整備促進期成会、



北海道町村議会議員研修会

天塩川治水促進期成会、自衛隊施設誘致期成会中央要請〔～14、東京都、議長〕

- 17 自衛隊北部方面総監来町〔草刈議長〕
町村議会新任議員研修会
〔札幌市、遠藤・川端議員〕
- 23 議会改革特別委員会、議員協議会〔全委員〕
- 27 総務文教常任委員会〔4委員〕
- 8月
- 10 議会広報特別委員会〔全委員〕
- 11 衆議院議員小平忠正を囲む2007納涼の集い〔議長〕
- 15 母なる川祈願祭〔議長〕
天塩町戦没者追悼式〔議長〕
- 17 北部方面総監廣瀬陸将を囲む会〔留萌市、議長〕
- 20 議会広報特別委員会〔全委員〕
- 23 議会広報研修会〔札幌市、全委員〕

議会を傍聴

してみませんか

次の定例会は

9月18日からの予定です

※議会改革特別委員会を設置

6月定例会において、議会改革研究検討のため、議員全員で構成する「天塩町議会改革特別委員会」を設置しました。

- 委員長 森 政清 副議長
- 副委員長 石山直継 議員

■発行/天塩町議会 ■編集/議会広報特別委員会

■天塩町議会/〒098-3398 北海道天塩郡天塩町新栄通8丁目・(01632) 2-1001 ■印刷/天塩共同印刷(企)

■ホームページ/ <http://www.teshiotown.com/> ■電子メールアドレス/ gikai@teshiotown.com